

# 各教科等年間指導計画

令和8年度

東京都立田無特別支援学校

2 年 組

グループ

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	国語
グループ名、人数	3グループ 10名		担当教員	◎飯樋 高橋	
ねらい	(1) 言葉への興味を広げ、語彙力を伸ばす。 (2) コミュニケーション能力を高め、日常に活用できる力を育てる。 (3) ひらがなや簡単な漢字を繰り返し学習し、定着を図る。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための国語（日本教育研究出版）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	個別学習 漢字の読み、書き	通年	○言葉や易しい漢字の読み、書き。 ▲読める文字や漢字を正しく書くことができたか。	・個々の課題に合ったワークシートを作成する。	
4	挨拶を学ぼう	6	○その場に合った挨拶を知る。 ▲その場に合った挨拶ができたか。	・イラストを用いて分かりやすくする。	
5	名詞の学習	6	○様々な物の名前を知る。 ▲正しい物の名前が分かるか。	・身近なものを題材にする。	
6	体育祭の作文	7	○写真や絵などで具体的に振り返る。 ▲体育祭を振り返ることができ、発言したり書いたりできたか。	・下書き用のワークシートを用いて、内容をまとめやすくする。	
7	かるた	6	○楽しみながら、語彙を増やす。 ▲言葉を聞き、選択ができたか。	・ルールを分かりやすく説明し、確認をする。	
9	修学旅行学習	7	○場所や特産物の漢字を知る。 ▲漢字について興味をもてたか。	・映像や写真を使って興味をもちやすくする。	
10	物語を聞こう	6	○物語を聞いて、分かったことを伝える。 ▲概要を理解することができたか。	・視覚教材を用いて、分かりやすくする。	
11	手紙の書き方 （お礼状、年賀状）	7	○手紙の種類や書き方を知る。 ▲手紙の種類に応じて内容を選んだり書いたりできたか。	・手紙を書く場面を分かりやすく視覚化する。	
12	行事の感想を 発表しよう	6	○文化祭の感想を発表する。 ▲文化祭で頑張ったことや楽しかったことを伝えることができたか。	・映像で振り返りながらイラストなどを使用する。	
1	書初め	6	○筆を使って表現する。 ▲のびのびと書くことができたか。	・時節に合った言葉をいくつか提示し、選択する。	
2	言葉の伝達	7	○言葉の内容にあった絵カードを正しく選び、相手に伝える。 ▲言葉の意味を理解し、伝えようとする。	・ヒントを工夫して選択しやすくする。	
3	考えて答えよう	6	○音読後、簡単な設問に答える。 ▲物語の内容をつかむことができたか。	・内容を簡潔で分かりやすくする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	社会
グループ名、人数	3グループ 10名		担当教員	◎程田、野中	
ねらい	<p>(1) 我が国の国土の様子や自然環境の特色、また国民生活や社会参加するためのきまり、公共施設の役割を理解する。</p> <p>(2) 社会的事象の特色や相互の関連を自分の生活と結び付けて考え、社会への関わり方を選択・判断し、表現する。</p> <p>(3) 学習したことを生かし、社会生活に活かすなど社会に対して主体的に関わろうとする態度を養う。</p>				
年間授業時数	18 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	自分が住む地域	4	<p>○自分が住む地域 (地形、道路、地図)</p> <p>▲地図を見て道路、線路、河川、山の見分けがつく。</p> <p>▲調べるにあたり、地図やICT機器を活用することができる。</p> <p>▲田無駅から学校までの経路を調べることができる。</p> <p>▲西東京市の特産品を調べることができる。</p>	<p>・ICT機器を活用できるように、手順を掲示し自発的にICT機器が利用できるように配慮する。</p>	
5 6 7	日本と世界の人々の暮らし	10	<p>○我が国の農業や水産業における食糧生産</p> <p>▲日本の農業、水産業などの特産品を調べることができる</p> <p>▲特産品が気候や、地形によって異なっていることを知ることができる。</p> <p>▲自分の手元に商品が届くまでの過程を知ることができる</p> <p>○諸外国の文化や産業の特徴について</p> <p>▲日本の近隣にある諸外国の文化や産業について調べることができる</p> <p>▲諸外国の文化や産業の背景にある歴史や気候について調べることができる</p> <p>○日本と諸外国との比較</p> <p>▲ICT 機器や文献を利用し、日本と諸外国の違いについて理解することができる</p>	<p>・ICT機器を活用できるように、手順を掲示し自発的にICT機器が利用できるように配慮する。</p> <p>・写真や絵カードを使用して想像ができるように支援する。</p>	
9	災害の種類や発生的位置や時期・防災対策	4	<p>○主に風水害の種類や影響、情報収集の仕方を指導する。</p> <p>▲マイタイムラインを使用し、風水害における避難行動を確認できるようにする。</p>	<p>・東京マイタイムラインやハザードマップを活用し、視覚的にわかりやすく理解できるようにする。</p>	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	数学
グループ名、人数	3グループ 10名		担当教員	◎伊神 川上 田中	
ねらい	(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに、日常の事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。 (2) 日常の事象を数理的に捉え、見通しをもち、筋道を立てて考察する力、基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき、学習を振り返ってよりよく問題を解決しようとする態度、数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	ひとりだちするための算数・数学 (日本教育研究出版)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	四則演算 金銭 測定		○計算機を使った計算 ○金銭と買い物 ○測定 (長さ・大小・重量)	・プリントなど、段階に応じた課題を用いる。	
4 5 6	数と計算	12	○数字、数唱 ▲数字を意識して、具体物を正確に数える。 ▲1けたの足し算、繰り上がりのない2けたの足し算が計算できる。	・具体物を数える機会や、電卓の操作を覚え、活用する機会を取り入れ、数に親しめるようにする。	
	数量、形の大小	5	○具体物の多少や大小の比較 ▲多い・少ない、大きい・小さいに気づき、答えることができる。	・身近なものを実際に並べて対応をさせ、理解しやすくする。	
7	図形の マッチング	8	○図形のマッチング ▲同じ色や形を正しく選ぶ。	・タングラムなど使用する。	
9	金銭	7	○金種を知る。 ▲紙幣・貨幣の種類と金額の多少が分かる。	・視覚的に分かりやすい教材や本物を提示する。	
10	数と計算	9	○数字、数唱、電卓計算 ▲数字を意識して、具体物を正確に数える。 ▲計算機で簡単な足し算ができる。	・具体物を用意し、興味関心を持ちやすくする。	
11 12	図形の マッチング	9	○図形のマッチング ▲同じ色や形を正しく選ぶ	・タングラムなど使用する。	
1	数量、形の大小	7	○具体物の多少や大小の比較 ▲多い・少ない、大きい・小さいに気づき、答えることができる。	・大きな文字盤を用意し、視覚的に見やすくする。	
2 3	金銭	13	○金種を知る。 ▲紙幣・貨幣の種類と金額の多少が分かる。 ○模擬買い物学習	・模擬買い物学習を通し大体の金額を出せるようにする。また模型のお金を活用し、やり取りする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	理科
グループ名、人数	3グループ 10名		担当教員	◎程田、野中	
ねらい	(1) 自然の事物・現象についての基本的な知識を理解する。 (2) 基礎的な観察や実験を行い、初歩的な技能を身に付ける。 (3) 自然に関心をもち、自然を愛する心情を養う。				
年間授業時数	17 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
9	植物の成長	4	○植物の発芽、成長など ▲おしべ、めしべ、がく、花びら等を知り、分類ができるようになる。 ▲受粉については、風や昆虫が関係していることが分かる。	・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。 ・農園芸班とも連動する。	
10	天気の変化	4	○雲の量や動きに着目して天気の変化と関連付ける。 ▲雲の量や動きなどで天気を予測できる。 ▲防災にもかかわることが知ることができる。	・実際の天気や雲の動きを観察する。 ・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。	
11 12	物の溶け方	5	○食塩や砂糖などを温度の違う水に溶かす。 ▲物が溶けると重さはどうなるのかを知ることができる。 ▲水の物が溶ける様子を動画等で確認する。	・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。	
1 2	電流の働き	4	○電流の働き ▲電流などの電気の基礎的な知識を身に付ける。 ▲電気の安全な使い方を知る。	・乾電池などを使い、基礎的な実験を行う。 ・身近な電化製品などを題材にする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	音楽
グループ名、人数	3・4グループ 20名		担当教員	◎恩村 (程田 三浦 田中) (武山 宮本 坂尾)	
ねらい	(1) 音楽表現の技能(歌唱、器楽、身体表現等)を身に付ける。 (2) 音楽の雰囲気や美しさを感じながら、音楽を聴くことができる。 (3) 音楽活動を通して、音楽によって生活を明るく豊かなものにする態度を養う。				
年間授業時数	70単位時間	使用教科書	レッツコーラス「音楽之友社」		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	発声練習 鑑賞 「生演奏」 共通教材 「日本歌曲」	通年	○姿勢や発声を意識して歌う。 ▲音の高低、リズムの違いに気づき、発声する。 ○我が国や諸外国の様々な音楽に触れ、独自の文化や多種多様性についての理解を深める。 ▲興味関心をもって、意欲的に鑑賞している。	・姿勢や発声について、カードや模唱で提示する。 ・演奏に注目できるように環境を整える。	
4	身体表現 「花は咲く」他	20	○歌詞の内容を感じながら、歌や身体動きで表現する。 ▲振り付けを覚え、音楽の流れに合わせて身体表現をすることができる。 ○拍を意識して、太鼓をたたく。 ▲基礎的な奏法を覚え、身体全体をしながら演奏できる。 ○手話歌のサインを覚え、歌をサインや歌で表現する。 ▲歌詞を覚え、曲に合わせてサインや歌で表現できる。	・映像の活用や、教員が手本を丁寧に示すなどの支援を行い、イメージをもちやすくする。 ・締太鼓の下打ちで拍を明確に示すことで、リズムを感じて演奏できるように支援する。 ・正面で手本を示し、部分的に繰り返しながら定着を図る。	
5	器楽 「和太鼓」 歌唱 「校歌」他				
6					
7					
9	器楽 「合奏」	35	○有音程の楽器と合わせて、打楽器等も活用し合奏をする。 ▲合奏の楽しさや達成感を味わう。 ○様々な種類の音楽に触れ、楽器の音色に親しむ。 ▲音色を感じ取りながら鑑賞することができる。 ○リズムにのって模倣しながら歌ったり身体を動かしたりする。 ▲自分のパートの役割を意識しながら、表現することができる。	・タイミングが分かりやすいよう、視覚的に分かりやすい楽譜を用意する。 ・生徒がイメージをもちやすい楽曲を題材に用いる。 ・動きのパターンを決めるなど、生徒が見通しをもって取り組めるように支援する。	
10	鑑賞 「生演奏」 歌唱・身体表現 「文化祭での歌やダンス」				
11					
12					
1	歌唱・鑑賞 「卒業式の歌」	15	○旋律をのびやかに歌う。 ▲歌詞を覚えて、旋律の動きを感じながら仲間と声を合わせて歌うことができる。	・視聴覚教材を活用してイメージをもちやすくする。	
2	「国歌」				
3					

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	美術
グループ名、人数	3・4グループ 20名		担当教員	◎坂尾 鈴木 福田 三浦	
ねらい	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。				
年間授業時数	70単位時間	使用教科書	美術資料 東京の美術 (秀学社)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	鑑賞 アートスキルト レーニング	通年	○造形活動を生活の中で生かす。 ▲制作を介したコミュニケーションができる。 ○成功体験を積み重ね自信を高める。 ▲造形活動に対し自信を高めながら前向きに制作できる。 ○自他の作品の良さに気付く。 ▲個々の作品の違いや工夫を見つけることができる。	・造形活動を通して人と関わり作品を生かせる場をつくる。 ・繰り返し行える活動にするなど主体的に行えるように工夫する。	
4 5 6 7	オリエンテーション	4	○簡単な制作を通して主体的に活動に取り組み、授業のルールを知る。 ▲制作活動に興味・関心をもち活動に意欲的に参加できる。	・成功体験を通し活動に意欲的に迎えるようにする。	
9	ポスターデザイン	8	○経験した描画法や親しみのあるデザインを応用しポスターを作る。 ▲表す形を意識し、デザインできる。 ▲説明を聞き、道具を適切に使うことができる。	・制作方法を具体的な見本などで分かりやすく提示する。 ・反復し技術習得できるようにする。	
	絵画 構成	14	○日本の伝統美術から学ぶ。 ▲伝統絵画のモチーフや文様などの色や形に興味をもてる。 ○モダンテクニックなどの基本的な技法を用いて制作をする。 ▲技法を取り入れて制作できる。	・体験とつながる題材を取り上げ、伝統美術への興味関心を高められるようにする。 ・扱いやすい材料を用いる。	
10 11 12	文化祭に向けた 取り組み	14	○文化祭舞台道具を制作する。 ▲制作分担に従い、個々の力を発揮して取り組める。	・仲間と協力して制作できるようにする。	
	絵画 デザイン	14	○暮らしを彩る季節の飾りをつくる。 ▲季節を意識して制作し作品で生活を彩ることができる。	・季節や制作のイメージがもてる動画を提示する。	
1 2 3	立体制作	16	○フェルトで立体作品を作る。 ▲道具の使い方や制作方法に慣れ制作することができる。	・写真や具体的な見本を用い、分かりやすく伝える。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	保健体育
グループ名、人数	○3.4グループ 20名		担当教員	◎松本 (火)飯樋、伊神 (水)坂尾、福田 (木)川上、藤代、恩村	
ねらい	(1) 運動を通して、運動技能を高め、体力の向上を図る。 (2) 集団行動を通してルールを守り、友達と運動を楽しむ気持ちを養う。 (3) 体と心の知識を深め、卒業後も健康で安全な生活を送る気持ちを育てる。				
年間授業時数	105 単位時間	使用教科書	くらしに役立つ保健体育 (東洋館出版社)		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	体づくり運動 集団行動	通年	○集合・整列・体操 ○りずむ運動 ○アジリティ運動 ○ダンス ▲内容が分かり行動できる。	・集合隊形の位置や向きや距離などに配慮する。	
4	陸上競技	11	○短距離走・リレー ▲目標タイムを設定し記録の向上を目指して練習ができる。	・目標や距離を明確にして取り組む	
5	陸上競技 ダンス	8	○短距離走・リレー ▲目標タイムを設定し記録の向上を目指して練習ができる。	・目標を分かりやすく示す。	
6	保健 健康保持	2	○生活のリズム、栄養、睡眠 ▲健康的な生活を送るための方法を知る。	・知識と方法の定着ができるように、講義や実践を工夫する。	
6 7	水泳	11	○泳法練習、水の特性の理解 ▲ルールを守り、安全に活動することができる。	・視覚教材を使ってルールを分かりやすくする。	
9	器械運動	11	○平均台運動 ▲様々な体の使い方ができる。	・手本を示す。 ・繰り返し取り組む。	
10	球技	12	○ボッチャ ▲簡易ルールを理解して試合を行うことができる。	・様々な道具で難易度を設定する。	
11	武道	5	○剣道、柔道、相撲、空手など ▲礼法や基本技の示範の動きを、模倣して動いている。	・映像教材を活用する。	
12	球技 保健	9 2	○バスケットボール ▲シュートやパス、簡単なゲームに取り組んでいる。 ○性教育授業の取り組み パブリックとプライベート	・内容を明確に示し、繰り返す。 ・視覚的に理解しやすい教材を活用する。	
1	陸上競技	11	○長距離走、インターバル走 ▲自らの力で取り組み続けることができる。	・距離や時間を明確に示し、個々の走力に応じて設定する。	
2	球技	12	○ワンベース ▲攻撃と守備で取り組むことが分かる。	・動きを単純にし、簡単な指示やジャスチャー等で伝える。	
3	球技	11	○ワンベース ▲攻撃と守備で取り組むことが分かる。	・動きを単純にし、簡単な指示やジャスチャー等で伝える。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	職業
グループ名、人数	3グループ 10名		担当教員	◎恩村 野中	
ねらい	(1)現場実習を通して体験を積み、働くことに対する関心、意欲、態度を育てる。 (2)職業生活に繰り返し取り組み、挨拶や必要なことを理解し実践する。 (3)自己理解、他者理解を深め、職業生活に適応するスキルを高める。				
年間授業時数	33 単位時間	使用教科書	新・見て分かるビジネスマナー集 ジアース教育新社		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活 軽作業	通年	○挨拶や働くときに使う言葉の練習 ▲自分から挨拶ができる。 ○軽作業に取り組み、報告する。 ▲報告ができるようになる。	・生徒の実態に応じて、挨拶や言葉の練習を繰り返す。 ・習熟度に合わせた軽作業を提示し、毎時報告の練習を取り入れていく。	
4	職業生活	2	○自己紹介 ▲お互いを知る。 ○家での仕事 ▲家庭のお手伝いがわかる。	・実態に応じた表現方法で自分の名前を相手に伝えられるようにする。 ・画像などを用いる。	
5	職業生活	4	○余暇活動 ▲簡単なゲームに自分から参加することができる。	・ルールがわかりやすいゲームで活動する。	
6	産業現場等における実習	3	○短期就業体験事前学習 ▲短期就業体験先での仕事内容や1日の流れを理解することができる。	・情報機器を活用し見通しをもつ。 ・毎時挨拶練習を行い、実習への意識を高める。	
7	職業生活	4	○短期就業体験事後学習 ▲就業体験での作業内容を思い出することができる。	・しおりや写真を見ながら振り返る。	
9	職業生活	4	○現場実習のマナー ▲実習前日常生活について自己チェックすることができる。実習中のマナーを理解できる。	・自己チェックができるようにリストを活用する。 ・クイズ形式で興味をもって参加できるようにする。	
10	産業現場等における実習	3	○現場実習事前学習 ▲実習先や仕事内容を理解することができる。実習の目標を教員と一緒に考えることができる。	・情報機器を活用し、実習先の情報を調べる。 ・毎時挨拶練習を行い、実習への意識を高める。	
11	産業現場等における実習	3	○現場実習事後学習 ▲教員と一緒に目標が達成できたかを確認することができる。	・教員と一緒に目標が達成できたか考える。	
12	職業生活	4	○働くためのルールとマナー ▲健康管理や身だしなみについて理解する。	・リストとロールプレイを活用して自己チェックできるようにする。	
1	職業生活	2	○3年生の現場実習の様子を知る ▲3年生の実習先の映像で見て、進路について理解を深める	・仕事内容や生活を知る。	
2	職業生活	3	○卒業生のお話を聞く会 ▲卒業後の仕事の様子や生活を知ることができる。	・仕事内容や生活を知る。話を聞きながらメモを取る。	
3	職業生活	3	○2年の学習のまとめ ▲実習など、1年間頑張ったことを一緒に確認する。	・実習を踏まえて、興味や関心をもった仕事などを話し合う。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	家庭
グループ名、人数		3・4グループ 20名	担当教員	◎ 杉山、横山、伊神、滑川	
ねらい		(1) 家族・家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (2) 家庭や地域における生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考えたいことを実現するなど、課題を解決する力を養う。 (3) 家族や地域の人々との関わりを通して、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。			
年間授業時数		70 単位時間	使用教科書	外食のカロリーガイド(改訂版)	
月	単元(題材)名	指導時	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通	住居の基本的な機能と快適で安全な住まい方	毎時	○掃除・ごみの分別 ▲正しく分別することができたか。	・被服室、調理室ごとに掃除の手順やごみ箱等を分かりやすく表示する。	
4	布を用いた製作	4	○基礎縫い 糸通し・玉結び・並縫い。 ▲手本を見て、同様の手順で作業をしようすることができる。	・実際に正しい方法を師範する。 ・作品の出来上がりをイメージできるように、完成品を提示する。 ・縫い方や縫う方向等、生徒の実態に応じて印をつけて示す。 ・返し縫いの手順を視覚的に示す。	
5		8	○スウェーデン刺繍 ▲目を正しくすくうことや模様刺し等ができる。		
6		8	○ミシンの操作を体験する。 ▲縫い始めと終わりにボタンを押して縫い進めることができる。		
7	家庭生活 日常食の調理	6	○家庭生活での役割 ▲家庭の仕事を知り、やってみようと思う。 ○郷土料理を知り、作ろう ▲郷土料理に興味を示そうとする。	・自分の生活と照らし合わせて具体的に考えられるようにする。 ・地方による調理法の違いについて提示する・実際に食材を見る、触れる等提示する。 ・刺繍・ミシンがけ共に同上。	
9	布を用いた製作	8	▲基本的な調理道具の扱い方や計量カップを使って、計量ができる。 ○スウェーデン刺繍を用いた「エプロン製作」 ▲刺繍・ミシンがけ共に同上。		
10	布を用いた製作	8	○スウェーデン刺繍を用いた「エプロン製作」	・刺繍・ミシンがけ共に同上。	
11		6	▲刺繍・ミシンがけ共に同上。		
12	日常食の調理	6	○簡単な1品料理をつくる。	・一つ一つの手順や方法が分かりやすいように手本や図や動画で示す。	
1		6	▲基本的な切り方を知り、実践できる。		
2		4	▲安全で衛生的に調理を行う。		
3	衣類の手入れや服装のマナー	6	○衣類の手入れの仕方を知る。 ○服装のマナーを知る。 ▲洗濯やアイロンがけができる。 ▲場面や場所に合わせた服装のマナーや装い方、服の選び方を知る。	・実際に洗濯機やアイロンを使って理解を促す。 ・外部の専門家による服装についての講習を設定し、理解を促す。	

令和8年度 東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	特別活動
グループ名、人数	学年全体 65名		担当教員	学年教員	
ねらい	(1) 自分達で考え、協力して行動する。 (2) 様々な活動を通して、社会のルールやマナーを理解する。 (3) 集団の中で自分の責任を果たしたり、問題解決の方法などを学んだりする。 (4) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	高等部の生活を楽しまう	6	○学年オリエンテーション (2年生の授業や行事を知る) ○学級目標決めと整理清掃活動 ○個人目標決めと整理清掃活動 ○係活動決めと整理清掃活動 ▲2年生の授業や行事を理解する。 ▲お互いに協力して活動する。 ▲意見を述べたり選択する。	・それぞれの生徒の障害の特性や発達の状況に合わせて理解できるよう教材を工夫する。 例) 視聴覚機器を使用したプレゼンテーション	
5 ~ 3	学級で活動しよう	15	○学級活動(体育学習発表会・校外学習・文化祭・現場実習などの活動の理解、準備反省)と清掃活動 ▲活動に見通しをもてる。 ▲自分の意思や意見をもつ。 ▲お互いに協力して活動する。	・視覚教材を利用し活動内容を理解させ、活動に対して意見を出しやすきようにする。 ・選択肢を示し意見を出しやすくする。	
6 7	修学旅行について	4	○修学旅行について理解する ▲行程を具体的に知る。 ▲宿泊先や見学先の活動内容を知る。	・視覚教材を利用したり、選択肢を示したりして理解しやすくする。	
9 10 11 12	学年集会をしよう	8	○学年集会についての話し合い ○学年集会の準備と清掃活動 ○学年集会の進行 ▲活動内容を考えられる。 ▲意見をまとめることができる。 ▲自分の枠割をはたす。	・お互いの意見を尊重しながらまとめることができるよう助言する。 ・参加が可能な取組になるよう促す。	
3	2年生のまとめ	2	○学級目標反省と整理清掃活動 ○個人目標反省と整理清掃活動 ○係活動反省 ▲自分について振り返る。 ▲他者の良い点に気づき、尊重する。	・自己評価、他者評価ができるよう理解しやすい教材を工夫する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	日常生活の指導
グループ名、人数	S類型 46名		担当教員	S類型担任	
ねらい	(1) 身だしなみなどに配慮しながら身の回りのことを処理し、持ち物などを自己管理できる力を身に付ける。 (2) 挨拶や返事ができ、社会生活に必要なルールやマナーを身に付け、自立的な生活をするための能力と態度を育てる。 (3) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。				
年間授業時数	175 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	挨拶  返事  身辺処理 着替え  衛生 健康管理  朝の会 帰りの会    日直  係活動	175	○挨拶や返事を自分から行う。 ▲自分から元気よく挨拶・返事ができる ○場面に応じた丁寧な言葉遣いができる。 ▲丁寧な言葉遣いや態度で人と接することができる ○食事のマナー、身辺処理、健康管理、身だしなみなど社会生活に必要な力を身に付ける。 ▲社会生活を送る上で基本的な力を身につけられる。 ○自分の持ち物を管理する。 ▲持ち物を自分で管理できる ○うがいや手洗いなどの習慣を身に付ける。 ▲自分からうがいや手洗いを行うことができる ○日課帳を自分から所定の場所に出すことができる。 ▲日課帳を所定の場所に出すことができる。 ○一日の予定を知り見通しをもって生活できる。 ▲一日を日記記入や発言で振り返る。 ○翌日の予定を日課帳に記入したり確認したりすることで心構えを作る。 ▲翌日の予定を把握できる ○日直の流れを理解して進めることができる。 ▲日直の流れを理解している。 ○自分のやりたいことを選び、進んで取り組む。最後までやり通す力を身につける。 ▲自分の係を自覚し、継続してできる。	・教員が模範となる。  ・要所で言葉かけを行い身に付ける。 ・継続して指導する。  ・場所を固定し動線を分かりやすくする。  ・個々の力に応じた言葉掛けに努める。  ・定着するよう、継続して取り組む。  ・係の仕事内容を具体的に示し、取り組むべき時に言葉掛けをする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	生活単元学習
グループ名、人数		S・O類型 62名		担当教員	B、C、D、E、F、G、H、I組担任
ねらい		(1) 行事の準備を通して内容を知り、目標をもって意欲的に活動する。 (2) 季節行事に関わる活動を通し、日本や外国の文化に触れる。 (3) 行事等の事後学習を通してできたことを振り返り、自信をもつ。 (4) 社会人になるための準備として、様々なことを経験する。			
年間授業時数		35単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
4	学校生活に慣れよう	2	○授業内容や行事について知る ▲説明にそって必要事項を記入する。		・各自のしおりに記入する。
5	体育祭を成功させよう	5	○体育祭の事前・事後学習 ▲参加種目を意識して活動できる。 ▲友達と協力して活動できる。		・体育の学習と関連をもたせて指導する。
6 7 9	世界の国を知ろう	3	○外国人講師との交流を通して、外国の行事や文化を知る。(ALTによる学習) ▲関心をもって外国人講師と交流することができる。		・興味関心のある題材を使用し、外国人講師に自国の特徴や日本との違いを話してもらおう。
	校外学習に行こう	4	○校外学習の事前・事後学習 ○校外を集団で安全に移動する。 ▲行事の内容を知り、意欲を高める。 ▲マナーやルールを守り行動できる。		・行程に簡単な見通しがもてるよう、写真画像等で分かりやすくする。
	修学旅行へ行こう	6	○修学旅行の事前学習 ○校外の安全な歩行 ▲行事に見通しや期待感をもつ。 ▲マナーやルールを守り歩行できる。		・行程に簡単な見通しがもてるよう、写真画像等で分かりやすくする。
10 11 12	文化祭を成功させよう	6	○文化祭の事前・事後学習 ○友達と協力しての道具制作を行う ▲自分の役割を意識して活動できる。 ▲友達と協力して製作する。		・イメージがもてるよう視覚教材を使用する。 ・他の教科と関連をもたせて指導する。
1	選挙の仕組み	3	○投票の流れの練習 ▲選挙の投票所での流れを知る。		・視覚教材や実物に近い教材を使用する。
2	長距離走記録会に向けて	3	○長距離走記録会の事前・事後学習 ▲記録会の内容を知り見通しをもつ。		
3	卒業式にむけて	3	○卒業式の内容を知りイメージをもつ。 ○儀式にふさわしい行動を学ぶ。 ▲落ち着いて儀式に参加することができる。		
					・式の流れについて視覚的教材を用いて、見通しをもちやすくする。 ・落ち着いて参加できるように繰り返し行う。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	総合的な探究の時間
グループ名、人数		65名		担当教員	2年生教員
ねらい		(1) 実社会や実生活と自己との関わりから自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (2) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。			
年間授業時数		35 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	以下の5グループに分かれて選択活動を行う。  ・情報  ・国際文化  ・芸術  ・スポーツ  ・環境	2	【すべてのグループ】 ○ジャンル、歴史、今注目の種目や分野等について課題をもち、調べたりまとめたりし、発表する。	・生徒の主体的な活動を設定するよう工夫する。	
5		3	○情報化の進展とそれに伴う日常生活や消費行動の変化について調べる。	・情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
6		4	○生活に身近な情報の入手方法等を調べる。		
7		3	○地域の外国人とその人たちが大切に行っている文化や価値観について、調べたり、体験したりする。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
9		3	○日本の伝統文化を調べたり、体験したりする。	・活動のイメージがもてるよう、視聴覚機器を活用する。	
10		4			
11		4	○ボールを使ったさまざまな集団スポーツ、各種トレーニング、ボッチャ交流会など	・自分の作品を紹介したり、友達の作品の良さを感じ取って感想を発表したりする場を設定する。	
12		3			
1		3	○地域の自然環境や環境問題について調べたり考えたりする。	・問題意識をもち情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
2		3	▲課題解決のために調べたり体験をしたりし、実際に活動した感想を発表することができたか。		
3		3	▲問題意識あるいは興味・関心をもち、情報を整理し、発表することができたか。 ▲友達と協力して調べ学習や発表に取り組むことができたか。		

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	作業学習（エコワーク）
グループ名、人数	エコワーク班 13名		担当教員	◎野中 武山、杉山、伊神、恩村、滑川 (月)高橋 (金)高取、齋藤	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能（手・指・身体の使い方等）を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 作業で働くことの楽しさ、頑張る経験を通して、仕事に対する意欲を高め、仲間と協力できる力を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	出席確認、挨拶、返事、報告、準備、片付け、清掃	通年	○挨拶、作業前後の準備等 ▲名前を呼ばれたことを意識して、返事や挨拶をすることができる。 ▲自分のできる表出方法で、返事や報告ができる。 ▲自分の役割を知り、教師の言葉がけや支援のもと、自ら取り組むことができる。	・写真と名前カードのマッチングで、わかりやすい表示ボードなどを利用する。 ・報告は、手を挙げる、VOCA 機器を活用するなどし、自ら表出できるようにする。 ・文字や写真カードを用いる。 ・作業日誌は視覚支援を取り入れる。	
4 ～ 3 月	紙作業 （製品作り、材料作りにおける工程） 軽作業 シュレッダー	245	○パルプちぎり、ラミネートはがし、紙ほし、ミキサーがけ、流し込み、紙すき、紙折り等 ▲ラミネートはがし、紙干し、パルプちぎり等の工程を継続して取り組む。 ▲シュレッダーがけ、紙折機の操作、ハサミや裁断機の使用など、手指の使い方を覚え道具を操作して作業ができる。 ▲ミキサーによるパルプ液作り、型詰め・型押しなど、自分で道具を操作して作業ができる。	・生徒の実態や興味・関心に応じて、内容や工程を選んで取り組む。 ・生徒が行いやすい自助具を取り入れる。 ・生徒の取り組みやすい活動があれば、適宜取り入れる。 ・生徒の実態に合わせて、ラミネートはがしのきっかけや紙の切り込み等の支援をする。 ・生徒の実態やその日の体調等に合わせて、作業の量や時間、行程内容を調整する。 ・工程の画像などを提示する。	
2 月	就業体験		○1年間の振り返り ▲1年間の活動を振り返り、自ら行った工程がわかる。		

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	作業学習
グループ名、人数		クラフト班 13名		担当教員	◎川上、坂尾、程田
ねらい		(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。			
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書	なし	
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4 5	・オリエンテーション ・クラフト班の仕事を知る。	24	○報告・連絡・相談 ▲適切な挨拶、報告ができる。 ○ラジオ体操やストレッチ ▲安全のために体の状態を整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。	・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・挨拶、報告の練習時間を設ける。	
6 7 8 9 10 11	・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」	76	○作業準備と片付け○木材加工切断 ○やすりがけ○組立○仕込み・塗装・仕上げ○アイロン○ミシン○レザークラフト○紙工 ▲作業内容、工程を理解し、自分から意欲的に作業できる。 ▲適切な挨拶・報告・連絡・相談・質問ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業ができる。	・視覚的に分かりやすく示す。 ・毎時間の作業量の目安や目標を明確にする。 ・補助具を工夫・活用し、生徒が自分の力で作業を行えるようにする。	
	・現場実習	30	○挨拶、報告、連絡、相談、質問、指示された事を守り作業を行う、時間を守る、準備や片付けを積極的に行う等、就労に適した態度・言葉遣い等ができたか自己評価し、これからの課題の整理を行う。	・視覚的に分かりやすく示す。 ・ワークシート等を活用する。	
11 12	・文化祭で製品を販売する。 ・販売に向けて製品を作る。	20	○作業準備と片付け○木材の加工と切断 ○部品加工○やすりがけ○組立 ○塗装・仕上げ○アイロン○ミシン ○仕込み・仕上げ(裁断等) ○レザークラフト○刻印○染色○金具付け○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業できる。	・繰り返し練習し、身に付けられるようにする。	
1 2	・クラフト作業 「作業製品販売に向けて」	75	○作業準備と片付け○木材の加工と切断 ○部品加工○やすりがけ○組立 ○塗装・仕上げ○アイロン○ミシン ○仕込み・仕上げ(裁断等) ○レザークラフト○刻印○染色○金具付け○紙工 ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業できる。	・繰り返し練習し、身に付けられるようにする。	
3	1年間のまとめ	20	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。	・次年度につながる評価表にする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	農園芸班 11名		担当教員	◎鈴木、宮本、藤代、菅原	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活	通年	○挨拶 ○作業準備と片付け ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ▲片付けや清掃ができる。	・ロールプレイを行う。 ・視覚教材を用い具体物を見せる。	
4	オリエンテーション	2	○作業班メンバーについて ○作業内容と作業計画について ▲作業班のメンバーがわかる。 ▲作業内容がわかる。	・口頭と文章の説明だけでなく、写真やビデオ、具体物を使って分かりやすく説明する。	
5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	農作物の栽培と管理	243	○畝づくり ▲スコップでの土おこしができる。 ▲鍬などを使った畝作りができる。 ▲耕運機の操作ができる。 ○苗植え ▲マルチ張りができる。 ▲穴開けができる。 ○土作り ▲土運びができる。 ▲土混ぜができる。 ○農作物の管理 ▲水やりができる。 ▲除草ができる。 ▲追肥ができる。 ○収穫 ▲教員に指示された作物をはさみで収穫できる。 ○販売 ▲笑顔で販売、接客ができる。 ○種まき ▲教員に指示された場所に種や苗を植えることができる。	・必要に応じて倒れないように身体を支える。 ・補助具を使い畝などがまっすぐになるようにする。 ・畝の幅や長さが整うように視覚的に支援する。 ・等間隔に穴が開くようゆっくり行なわせる。 ・先頭の者が目的地の把握や、後方に気配りを行うことを意識付ける。 ・活動の前と後に畑や作物の確認を一緒に行い変化に気付けるようにする。 ・模範で野菜の切断方法や持ち方などを示す。 ・ロールプレイを行う。 ・補助具を使用して正確に植えられるようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	2年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	食品加工班 12名		担当教員	◎横山、飯樋、松本、三浦	
ねらい	(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	職業生活	通年	○衛生・挨拶 ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 ○報告・連絡・相談 ▲「できました」「確認お願いします」などが言える。	・身だしなみチェックを作成する。 ・身支度の手順をカードや写真で示す。 ・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・報告の台詞を言う練習時間を設ける。	
	事務 ・販売POP作り ・シール貼り等		○ラベル貼り ▲まっすぐにラベルが貼れる。	・ラベル貼りの補助具を活用する。	
	調理 「計量」		○デジタルスケールの扱い方 ▲デジタルスケールの正しい使い方ができる。	・視覚的に分かりやすい表示をする。	
4	オリエンテーション	23	○作業内容と調理工程 ▲作業内容や調理工程がわかる。 ○テーブル拭き ▲清掃検定の拭き方ができる。	・写真やビデオを使い分かりやすく説明する。 ・定着するよう繰り返し取り組む。	
5 6 7	調理 (製品作り) ・パン ・焼き菓子 販売	67	○打合せ、目標の確認、本日の内容 ▲日誌に目標や作業分担を記入しながら、その日の活動が分かる。 ○身だしなみ、着替え、手洗い ▲身だしなみを整える順番を覚える。衛生面に気を付けて手洗いをする。 ○成型 ▲指示された通り、パンや焼き菓子の種類に応じた成型ができる。	・必要な用具や材料の写真カードを示す。 ・計量マニュアルを作成し、慣れるまでは読み上げながら作業をする。 ・正確に計量できるように繰り返し練習する。 ・大体の量を視覚的に分かるように見せる。	
9 10 11 12 1 2	調理 (製品作り) ・パン ・焼き菓子 販売	135	○袋詰め ▲グラムや向きを合わせて製品を袋に入れることができる。 ○販売、金銭のやりとり ▲接客用語を言うことができる。 ▲釣銭の判断ができる。 ○工程表の見方を覚え、自ら仕事に取りかかることができる。 ▲工程表の見方がわかる。 ○洗浄・片付け ▲すすぎ残しや拭き残しをなくす。	・作業工程を分業化し、得意な場所に配置する。 ・ラベル貼りの補助具を活用する。 ・成型ができる補助具を準備する。写真レシピを作成する。 ・製品に応じた袋の大きさを用意する。 ・接客用語が身に付くよう繰り返し練習をする。 ・お釣り表を作成する。 ・ホワイトボードに各自の仕事をわかりやすく表示する。	
3	職業生活 1年間のまとめ	20	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか振り返り自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。	・良かったところを褒めて次年度の意欲につなげる。	